

梅津中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

令和6年度 小中一貫教育構想図

9年間の小中一貫教育の目標
『自他を大切に共生の心と
自らの生き方を探究する児童・生徒の育成』

目指す子ども像

互いのよさや可能性を認め合い、思いや考えを伝え合える児童・生徒

自分の課題を見だし、自分を生かせる未来を語れる児童・生徒

具体的な取組の柱

- ①管理職・教務主任（小中連携主任）の連携を定例化し、三校教育活動の方向性を確認する。
- ②教務主任、研究主任、生徒指導主任（主事）、児童・生徒会主任、総合育成支援教育主任、総合的な学習主任、育成主任を中心とした七部会で構成された小中合同主任会を年3回実施して、情報交換や共通理解、企画立案を図る。
- ③小中合同授業研修会（隔年小1回、毎年小1回）を行い、小中相互の授業への理解と授業改善を図り、学力向上を目指す。
- ④夏季小中合同教員研修会を行い、9年間を見通した児童・生徒理解と指導の方向性の共通理解を図り、実践につなげる。
- ⑤梅津学区で毎月15日を「いいことばの日」とし、各校児童・生徒会を中心に「いいことば」を使う取組を推進し、また児童・生徒会合同のあいさつ運動も実施する。
- ⑥各校実施の研究授業や研修会に、適宜参加をして相互研修を深める。
- ⑦保護者や地域に対して、小中一貫教育の理解を促進するために、各運営協議会や地生連、また学校HPを活用して、広報活動を積極的に行う。

梅津中学校・梅津小学校・梅津北小学校の梅津三校で、育てる児童生徒像を共有し、相互のカリキュラムや生徒指導などの取組の交流と調整を行い、また、授業公開と事後研究会、夏季合同研修会の分科会での課題別協議を実施する。これらの取組を通して相互理解と課題の共有を図り、指導力を向上させ学力向上を目指す。

梅津小学校

「進んで学び、自らの力で
未来を切り拓く子ども」

取組の3つの柱

- ① 人権教育を基盤とした、人間愛に満ちた児童の育成 「一人一人が徹底的に大切にされる学校」
- ② 学力向上を目指した、進んで学ぶ子の育成 「学力向上委員会で徹底して実践する内容の検討と充実」
- ③ 保護者・地域との連携 「開かれた学校づくり、地域ぐるみの学校づくり、小中連携等」

梅津中学校

「自らの考えや想いを伝える力 相手の意見や
想いを汲み取る力 仲間と繋がり合える力」

取組の柱【目指す生徒像】

- ① 自他の大切さを認め、「つながり」を大切にできる生徒
- ② 自主自律の精神を重んじ、自ら学び続ける生徒
- ③ 夢や希望を実現するため、新たに挑戦する生徒

梅津北小学校

「夢に向かって 自ら考え 行動し
最後までやり遂げる子を育てる」

取組の3つの柱

- ① 「自ら学ぶ子」
…学力向上、自己指導能力、思いを言葉にする力の育成
- ② 「優しい子」
…人権尊重、福祉、ボランティア精神の育成
- ③ 「たくましい子」
…健康・安全教育、食に関する指導の充実